

アルモ自稱ナルベシ、故ニ持統天皇ノ太上天皇モ、尊號ヲ上リシニハアラザルベシト思ハル
ルナリ、且ツ令ノ本注ニハ、太上天皇、讓位帝所稱トアリテ、讓位ノ後ハ例トシテ稱スベキニ似
タリ、カク支那ニテハ、自稱セシコトモ、尊號ヲ上リシコトモアレド、吾邦ニテハ、其初ハ別ニ上
リシニハアラザラン、是ヨリ後數世ノ間モ亦尊號ヲ上ルノ文ナシ、嵯峨天皇ノ讓位シ給フヤ、
自ラ帝號ヲ除キ、人臣ニ列セントス、是ニ於テ尊號ヲ上ルノ詔アリ、尊號ヲ上ルコトノ明ニ史
ニ見エタルハ是ヲ始トス、

又按ズルニ、扶桑略記舒明天皇十三年ノ條ニ、一説云、讓位於皇極天皇、號太上天皇トアルニ據
レバ、太上天皇ノ尊號ハ、既ニ舒明天皇ニ起レルガ如シ、然レドモ他書ニ明徵ヲ得ザレバ、信ヲ
措キ難シ、

〔二代要記元一明〕和銅八年乙卯九月三日、讓位於氷高内親王、元正爲太上天皇、年五十五、元正又見神皇
代略記、

〔東大寺要錄八〕裏書 奈保山太上天皇元明 山陵碑養老五年十一月七日崩○碑文略

〔延喜式二十一〕奈保山東陵平城宮御宇元明天皇在大和國添上郡

〔續日本紀十二〕天武八年十一月丙戌、從三位葛城王、從四位上佐爲王等上表曰、中飛鳥淨御原大
宮御大八洲天皇、天武德覆四海、威震八荒、中太上天皇、内脩四德、外撫萬民、中後太上天皇、無改
先軌、守而不違、略

〔續日本紀考證五〕太上天皇、蓋謂持統天皇也、後太上天皇、蓋謂元明天皇也、

〔二代要記元一正〕養老八年甲子二月四日、讓位於皇太子豐櫻彥、元正即日爲太上天皇、時年四十四、元正
見扶桑略記、水鏡、皇胤
紹運錄、皇年代略記、

〔東大寺要錄一〕廿年元正戊子、飯高太上天皇、元正崩、年六十九、